

目標とする指標設定の考え方

	H 2 5 (実績)	H 2 6 (実績)	H 2 7 (実績)	H 2 8 (実績)	H 2 9 (実績)	H 3 0 (実績)	R 1 (実績)	基準値	R 6 (中間年 目標)	R 10 (最終年 目標)	目標値等設定の考え方 (基準値はR元年度値以外を設定している場合に記載)
農家戸数 (戸)	636	629	618	609	601	594	589	589	557	540	H25→R2は平均7.5戸/年減。H27→R2は平均7戸/年減。 新規参入・後継者対策等で最終目標値年3～4戸の減少に留める。
新規就農 (人)	18	17	8	24	15	4	8	8	15	15	H25→R2は平均13.4人/年。 目標値15人/年に設定。
経営耕地面積 (ha)	20,278	20,307	20,264	20,311	20,320	20,369	20,406	20,406	20,406	20,406	基準値の維持で設定。
担い手への農地 集積率 (%)	94.75%	94.89%	94.69%	94.91%	95.39%	95.18%	95.35%	95.35%	95.35%	95.35%	限界値に近い場合、現状維持で設定。 経営耕地面積÷耕地面積(農林水産統計市町村別耕地面積より)
農業生産額 (百万 円)	23,037	25,303	29,657	25,307	31,490	29,385	31,182	29,404	30,685	31,400	基準値は直近5年の平均を設定。 中間年の目標は直近3年の平均とし、安定的に300億円を超える生産 額として想定。最終年の目標は過去最高の農業生産額 (H29) に設 定。
経営耕地面積/戸 (ha)	32.1	32.4	32.9	33.4	34.6	34.9	34.6	34.6	35.7	36.7	経営耕地面積÷農家戸数
農業生産/戸 (千円)	36,223	40,228	48,224	41,556	52,397	49,387	52,942	52,942	55,090	58,148	農業生産額÷農家戸数
指導農業士・農業士 数	28人	28人	28人	28人	31人	30人	31人	31人	32人	35人	2年毎に1～2名の推薦を見込む。 ※ 農業士は、50歳までの認定 (以降は本人の意向により継続可)
食農事業参加人数 (人) ※ 計画期間累計	67人	107人	103人	49人	108人	83人	80人	80人	963人	1,824人	※ 感染症対策を考慮 農小+食農教育+バスツアー＝(30+(年によって変動あり)+50) /年

	H 2 5 (実績)	H 2 6 (実績)	H 2 7 (実績)	H 2 8 (実績)	H 2 9 (実績)	H 3 0 (実績)	R 1 (実績)	基準値	R 6 (中間年 目標)	R 10 (最終年 目標)	目標値等設定の考え方 (基準値はR元年度値以外を設定している場合に記載)
有害鳥獣被害額 (千円)	81,707	57,065	53,220	48,431	89,316	43,115	71,585	71,585	60,847	50,109	目標指数は、R元年度の被害額から30%削減で設定。
国営土地改良事業 による再整備 稼働数(地区)	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	関係機関による老朽化した土地改良施設や農業用水施設の再整備を 推進し地元自治体負担を軽減
道営土地改良事業による 農地基盤整備稼働数(地 区)	2	2	3	4	5	5	4	4	3	3	農村地域を巡回する形で継続的かつ計画的に農地の基盤整備を推進
乳用牛飼養頭数 (頭)	6,799	6,774	6,698	6,932	6,833	6,873	6,695	6,695	7,058	6,980	目標値の設定は、J A めむろによる試算。
肉用牛飼養頭数 (頭)	16,734	17,259	17,461	18,173	18,087	17,216	17,336	17,336	18,200	18,500	目標値の設定は、J A めむろによる試算。